

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

| | | |
|--------|-------------------------|---|
| P T A名 | 静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校 P T A | |
| 学校 | 対 象 | <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱 |
| | 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 |
| | 全校児童・生徒数 | 45人 |

1. 使用状況

| | |
|---------------|---|
| 寄贈物品名 | 電子ピアノ |
| 使用学年及び人数 | 高等部2年 11人 |
| 使用頻度 | 週に2～3回 |
| 使用状況 | 音楽の授業 2年生 週に1回 休み時間 友人とポピュラー音楽の伴奏や歌唱の活動 |
| 物品の使用による変化や効果 | 本校では、各学年で週に1時間「音楽」の授業を行っている。学校で楽器を保管する場所が少ないため、各教室に教育用オルガンを設置している。しかし、既存の教育用オルガンの老朽化に伴い、儀式の合唱練習時間の確保や高度な音楽学習が難しい状態が続いていた。今回の電子ピアノの寄贈により、音楽の時間に豊かな音色で合唱ができるようになった。また、休み時間に生徒がピアノに触れる時間ができたことで、生徒同士のコミュニケーションが活発になっている。様々な音色が出せるピアノを教室に設置できたことで、生徒の好奇心がひろがり、自発的に楽器に触れる機会が増加し、生徒の充実感にもつながっていると考えている。 |
| 今後の活用の見通しや課題 | 現在は、音楽の授業での使用を中心としている。今後は、外部での演奏会の機会の設定や、保護者に向けた演奏会などを計画し、楽器を演奏する機会を増やしていきたいと考えている。 |
| その他希望や所感など | |

2. 活用の様子

